

市議会だより

4月臨時会・5月臨時会・6月定例会



議会より、市民の皆さんにお知らせ…15ページ



芝生田放課後児童クラブの皆さん「昨年の夏休みこども教室で湯の丸登山」

暑中お見舞い
申し上げます

主な内容

- 主な内容
- 行政への要望書 …………… 3ページ
- 令和2年度一般事業予算 …… 4～5ページ
- 新型コロナウイルス感染症対応予算について …………… 6～7ページ
- 一般質問 代表質問（5名）… 9～13ページ
- ぼいす・傍聴席・編集後記 …… 16ページ

新型コロナウイルス感染症対策事業 予算を含む議案すべてを可決

3月から6月の小諸市議会概要

この期間中、市長選挙・新型コロナウイルス感染症対応があり、3月定例会、4・5月臨時会、6月定例会で、令和2年度予算（補正含む）、コロナウイルス対応予算を議決してきました。

また、小諸市議会より行政に対し、要望書を提出しました。このような経過から、今議会だよりでは、3～6月議会の内容を、以下の様にまとめました。

- ①概要（2ページ）
- ②議会から行政への要望書（3ページ）
- ③令和2年度予算（4・5ページ）
- ④条例（5ページ）
- ⑤コロナウイルス感染症関連予算（6・7ページ）
- ⑥人事案件・その他（8ページ）

4月臨時会

期間：4月17日

議案：小諸市副市長選任

の同意ほか全3議案

結果：すべて同意・承認
しました。

6月定例会

期間：5月28日～6月23日（27日間）

議案：一般会計補正予算

ほか全14議案

結果：すべて承認、同意
可決しました

5月臨時会

期間：5月18日

議案：一般会計補正予算

ほか全8議案

結果：すべて承認・可決
しました。

また、議員提出議案として、議員報酬について

本年6月から12月までの

間、全議員一律で、議員

報酬から3%の削減を行

う発議など2件が提出さ

れすべて可決しました。

一般会計予算（補正含む）で計上された主な事業

商工費

○新型コロナウイルス関連緊急経済対策事業

合計 1億7,990万円

テイクアウトや出前などを行う飲食店へ支援、旅館事業者へ事業継続給付金、長野県が取り組む「新型コロナ対策推進宣言のお店」の定着を図るための支援など多岐にわたり実施します。

総務費

○特別定額給付金給付事業

42億6,457万円

国の「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」を受けて、市民一人当たり10万円を給付しました。

教育費



○中学校施設維持管理事業

2億9,597万円

経年劣化が進行している小諸東中学校北校舎を全面的に改修します。（学校の長寿命化）

民生費

○保育所建設事業

6,000万円

芦原保育園と中央保育園の再構築に係る新保育園建設費用です。実施設計業務委託、50メートルプールの解体撤去工事、現地の測量や地盤調査等を行います。

②議会から行政への要望書



田中 小泉 竹内 柏木
副市長 市長 議長 副議長

緊急事態宣言が発令された4月7日から7回にわたり対策会議を開催し、浅間南麓こもろ医療センター、小諸商工会議所、区長会など様々な関係団体と意見交換を行い、取りまとめた提案及び要望を行政に提出しました。

小諸市議会は、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、

新型コロナウイルス感染症対策にかかる提案・要望の申し入れ

記

1 医療・検査関係について

- ・感染症の第2波に備え、県及び関係機関と十分な協議を行い、PCR検査等検査体制を充実させるとともに、医療崩壊が起きないように軽症者の受け入れ先として、ホテル等を事前に確保することを検討して頂きたい
- ・県外との往来が可能となり、首都圏からの入口となる東信地区は、感染症拡大の恐れもあるため、東信地区の市町村と連携し、水際対策を検討して頂きたい

2 国の特別定額給付金への対応について

- ・申請方法が分からない等で、申請をされていない人のフォローを確実にし、受給漏れの無いよう対応して頂きたい

3 小諸市独自の経済対策・事業者支援について

- ・「新型コロナウイルス感染症対策資金」について検証し、利子補給期間を延長して頂きたい
- ・地方創生臨時交付金を活用した市独自の経済対策について検証し、必要に応じてさらに拡充して頂きたい

4 小諸市独自の生活支援について

- ・就学援助を受ける「準要保護世帯」や、ひとり親世帯などへの生活支援を拡充して頂きたい
- ・緊急を要する生活困窮者に対する支援を拡充して頂きたい

5 行政の組織対応について

- ・相談に訪れる来庁者や電話での相談者に、きめ細やかに対応できるよう、組織体制を確立して頂きたい

6 情報提供のあり方について

- ・引き続き、新型コロナに関する情報について、迅速できめ細やかな情報提供に努め、必要に応じ全戸配布で行って頂きたい
- ・市内各区長においては、区の行事等のあり方について悩みを抱えていることから、区長会から提出された要望事項について、7月2日の区長会役員会では、区長の気持ちに寄り添った回答をして頂きたい

以上

令和2年度事業

3月定例会（骨格予算）・6月定例会（肉付け予算）にて

3月定例会（令和2年度骨格予算）

問	質	疑
答	答	弁
意	意	見

農産物ブランド化事業

事業費 1千270万円余
小諸の農産物のブランド化を促進するとともに、令和3年度に実施する「お米の食味コンクール国際大会」のプレ大会を令和2年度に実施

問 お米の食味コンクール国際大会に向けての行政の関わり方は具体化しているのか。

答 令和2年度は、実行委員会を立ち上げ、農協と米づくり教室を開催するなど、関係の皆さんと一緒に頑張っていきたく。

観光振興事業

事業費 3千880万円余
こもろ観光局と連携して、戦略的で効果的な観光事業を検討・実施

問 こもろ観光局と観光地域づくり事業を取り組んでいる中で、これからの課題は何かということと、それを踏まえて検証についてはどう考えているか。

答 2年後にはこもろ観光局に対する国の交付金が終わる。その後の運営が課題であると考えている。検証も含め今後のこもろ観光局の運営、あり方について観光局共々考えていくことになる。

意 こもろ観光局が持続可能な局となるために、当事者たちが自分達で悩み考えその先の明か

りを見つけることが一番望ましい。是非、立ち上げの初心であるから小諸を考えたから、しっかりと進めていただきたい。

消防施設費運営費（消防団の運営費）

事業費 1千600万円余

問 消防団の団員数は条例で850名であるが、その団員数の確保は大丈夫なのか。

答 団員対象にアンケートを実施し、団の実情がわかってきた。災害時に消防団の力が非常に大きいので定数は確保していきたいが、各部の実状は非常に厳しいところもある。まずは魅力ある消防団づくりから手を付けている。

小諸市水道事業（特別会計）委託料（水みらい小諸） 3億8千800万円余

問 物品等の購入は市内の業者を優先しているか。市内の水道業者との関係はどうか。

答 維持補修については市内業者への発注を条件にしている。

機械類については小諸市で出来ないものは、専門の方に委託をしている。

農村資源活用交流施設運営事業（あぐりの湯運営委託料）

事業費 1千100万円余

問 指定管理委託料は前から問題になっているが、なぜ赤字補填しなくてはいけないのか。

答 指定管理者の農協に経営改善計画を出して

もらったのでその実行とそれを上回る取組をお願いする。その効果を見て次の指定管理の時には考えなければいけない。

高齢者タクシー利用助成事業給付費について

事業費 480万円

問 この事業は令和2年度で廃止であるが、利用者の声はどうか。また廃止の周知はできているのか。

答 周知については広報こもろと、実際に利用されている方にお知らせしてある。新たに購入される方には令和2年度で終了するということを周知している。利用者は現在219名。制度について継続する方が多いという意見は窓口で聞か、廃止について一定の理解はいただいていると捉えている。

令和2年8月5日 こもろ市議会だより 第184号 (4)

6月定例会（令和2年度肉付け予算）

保育所建設事業のうち調査等委託料1千万円について

子ども相談費 特別支援教育等推進事業（増額）

事業費 50万円

問 地盤調査の内容と、考え方はどうか。

答 市民の最大の関心事でもあるのでしっかりとボーリング等の測量をして進めたい。

特別支援教育に、応用行動分析の理論と技法を取り入れる研修費用

問 今後どのように発展させるのか。

答 応用行動分析学に基づき対応ができる先生や保育士を増やしていきたい。

意 実践的な個別指導につながるような障がい児支援教育であって欲しい。

ふるさとPR事業について（増額）

事業費 300万円余

問 地域振興アドバイザーを1名採用して9回事業を行うということだが、内容はどうか。

地域振興アドバイザーを1名採用して9回事業を行うということだが、内容はどうか。

答 様々な情報発信、マーケティングの専門家の招致である。これまでの実績はふるさと納税のPRの仕方や返礼品の選択、PR動画作成にアドバイスして頂いている。

意 成果や目的を透明化して、しっかり成果を公表していただきたい。

農産物ブランド化事業（増額）

事業費 700万円余

問 増額の内容はどうか。

答 改修工事は、今年度のプレ大会で来年の練習をするが、二十何台という炊飯器を同時に使用するので、そこに仮設電源を設けたり、来年と同じ状態にする準備のための仮設工事費である。

令和元年発生農地農業用施設単独災害復旧事業

事業費 3千万円

問 実施状況と今後の見込みはどうか。

答 復旧箇所は全体で400を超える件数があり、発注済み工事が150件程度である。進捗状況としては、現在は田畑で耕作をしているため、業者は決まってはいるが工事に着手できないという状況もある。

小学校施設維持管理事業（増額）

事業費 220万円

問 東小学校の電話機交換ということだが、内容はどうか。

答 設備自体が古いので基盤を変える。電話機を一斉に取り換えると1台3万5千円くらいになる。ナンバーディスプレイと事務室、校長室、職員室に録音機を付けるのでそれを積

み上げていくと220万円になる。

体育施設費 総合体育館等運営事業（増額）

事業費 850万円余

令和9年国体で、小諸市はレスリング会場に決定しており、レスリング用マット2セット分の購入

④ 条例改正

小諸市特別職の職員等で常勤の者の給与に関する条例の一部を改正する条例

削減額 約110万円

小諸市重度心身障がい児年金条例を廃止する条例

削減額 約130万円

市長10%、副市長・教育長5%の給与の減額を可決（令和2年12月）

問 本制度を利用している市民の理解は得られるか。国の制度が充実しているとのことだが、不足はないのか。

小諸市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例（議員発議）

削減額 約130万円

答 本制度は市の単独事業として昭和42年に発足した。当時は国の制度が十分でなく、その後特別児童扶養手当、障害児福祉手当の制度拡充により、金額の見直しや内容の充実が図られてきた経過がある。

議員一律3%の減額を可決（令和2年12月）

条例の議決後は、丁寧に周知を図りたい。

新型コロナウイルス感染症への対応

5月臨時会・6月定例会にて議決したものの

ほとんどが国の補助率100%の事業です。

5月臨時会（4月専決処分）

- 特別定額給付金給付事業
（国の補助事業）
事業費 42億6千万円余
小諸市の住民に一律10万円を給付するもの（手数料等含む）
- 旅館等事業継続給付金
事業費 1千500万円
規模に応じて最大100万円を給付
- 新型コロナウイルス関連
緊急経済対策事業
・テイクアウトや出前を実施の飲食店への支援
事業費 500万円
市内全戸配布用パンフレットの作成など
- 学校運営費
・学校給食の食材補償
事業費 200万円
- 児童手当
・子育て世帯への臨時特別給付金
事業費 5千150万円
1人当たり1万円の上乗せ
- 中小企業緊急融資利子補助 事業費 550万円
- 協力的事業所に対する30万円の支援

「専決処分」とは

地方自治法の規定により、緊急の場合あるいは議会が成立しない場合などに、議会の議決を経ずに予算事業を執行することです。執行後に議会の承認を得なければなりません。

今回は、新型コロナ感染症による、特別定額給付金事業・緊急経済対策事業を早期に実施するため、市長が4月中旬に執行（専決処分）し、5月臨時会で議会が承認したものです。

5月臨時会補正予算

- 新型コロナウイルス関連
緊急経済対策事業
・プレミアム商品券の発行等
3億円分の商品券（市内のみ有効）を2億5千万円で販売する事業
差額の5千万円が事業費で、事務委託料として別に1千200万円が必要
市内の登録店舗で使用可能で、市民一人当たり5万円まで購入可能
- 品券にできればと思っている。
- 問 大型スーパーはコロナにより売り上げが上がっているとも聞か、なぜ大型スーパーでも使える商品券としたのか。
- 答 事業者支援はもちろんだが、消費する市民全体の生活支援という面もあるので市民の要望により一部を大型スーパーでも使用可能とした。
- 問 様々な経済対策がある中で、なぜプレミアム商品券を選択したのか。
- 答 他県からの往来はまだ自粛中という中では、地域のお金を回していく必要がある。市民の皆さんの気運を高めながら使っていく商
- 問 なぜ使用期限を今年の12月31日としたのか。
- 答 新年会・卒業入学祝いなど年度末まではどうにか。
- 問 国の交付金は令和2年度のものであり年度末までに清算する必要

⑤新型コロナウイルス感染症対策予算

6月定例会補正予算

があることと、12月までの需要に配慮しつつコロナウイルスの動向を見極めて次の経済対策を考えたい。

問 今後も新たな別の支援策があるものと考えて良いか。

答 これから先どうなるのかわからない。その辺を見極めたうえ必要に応じてやっていく事と現時点では考えている。今回で全てが終わるとは思っていない。

意 国からの臨時交付金はまだ残っているの、それを使い切るくらいのつもりで生活支援や足りない部分への手当てを早急に組み立てて頂きたい。

避難所等感染症予防対策

事業 事業費 300万円
段ボールベッド100人分、パーティション100世帯分、アルコール消毒液、マスクなどの購入

マスク・消毒液などの備蓄があるので、臨機応変に公民館に運ぶなど対応したい。

消毒液などは各区の公民館へも充当できる

問 予算立てとなっているか。

答 この予算の中で公民館に配布する。

消耗品購入は10施設が対象とのことだが、なぜ10力所に絞ったのか。

答 公設避難所マニュアルでは、各区の公民館は一晩程度と定義し、その後は市の指定避難場所に移動して頂くとしている。

しかしながら市にも

公共施設等空間安全安心確保事業

事業費 80万円

主に庁舎で使用する消毒液、マスク、パーティションの購入

子育て世帯支援事業

事業費 1千765万円

子育て応援チケット(商品券)を児童手当の対象世帯に一人当たり3千円分の給付

市内のすべての商店で使えるようにはできなかったのか。

答 商店側で本事業に参加しない場合は使えない。

い。

新型コロナウイルス関連緊急経済対策事業
・飲食店等感染予防対策交付金

事業費 1千万円

消毒液や衝立、フェイスマスクなどの感染予防対策に最大1事業者あたり5万円の補助

事業費1千万円では200件分にしかならない。その辺はどうか。

答 製造業も含めると市内には2千事業者があるので到底足りないと考えてるが、今後は事業費も追加しながら対応をして幅広くやっていきたい。

問 製造業の窓口も対象になるのか。

答 基本的にどこの業種も同じと考えている。

観光産業需要喚起支援

金 事業費 740万円

輸送業者(バス・タクシー・代行など)の事業

観光産業需要喚起支援

・観光産業需要喚起支援

金 事業費 740万円

新型コロナウイルス対策学校衛生環境対策事業

事業費 220万円

継続支援として、法人に50万円、個人に30万円の給付

観光誘客事業業務委託

事業費 1千150万円

「小諸へ泊まろうキャンペーン」(宿泊客への補助)や特産品の販売促進

業務委託料の内訳は

答 キャンペーンのうち、宿泊代金割引制度が410万円、インフルエンサー招聘情報発信が420万円。こもろを味わう特産品モニター発信事業が320万円である。

アフターコロナ移住ニーズ調査業務委託料

事業費 100万円

テレワークの定着により移住を検討する首都圏在住者が増えていると聞くので、それらのニーズの調査

アフターコロナ移住ニーズ調査業務委託料

事業費 100万円

テレワークの定着により移住を検討する首都圏在住者が増えていると聞くので、それらのニーズの調査

新型コロナウイルス対策学校衛生環境対策事業

事業費 220万円

小中学校8校の消毒液等の購入

感染症対策に強い小学校構築事業

事業費 175万円

東小学校の手洗い場の増設、網戸購入等

小学校ICT教育推進事業

事業費 450万円

教職員用タブレット100台の購入

文化施設等新型コロナウイルス対策事業

事業費 50万円

文化施設の消毒液・マスク等の購入

文化施設等新型コロナウイルス対策事業 事業費 50万円

文化施設の消毒液・マスク等の購入

小諸市農業委員会委員
選任の同意について

今定例会では、18名の農業委員の選任について提案があり、同意しました。

- ・森山 正行氏(森山)
- ・山浦 敏捷氏(耳取)
- ・前田 富孝氏(大久保)
- ・堀内 廣氏(市町)
- ・小山田 武氏(柏木)
- ・北澤 住人氏(菱平)
- ・塩川 範仁氏(甲)
- ・小根澤正廣氏(滋野甲)
- ・小林 知明氏(諸)
- ・清水 清和氏(御影新田)
- ・美齊津順子氏(八満)
- ・山浦 和茂氏(山浦)
- ・塩川 清志氏(塩野)
- ・林 功氏(平原)
- ・小林 正明氏(八満)
- ・清水 房雄氏(山浦)
- ・高木 蘭子氏(乙)
- ・白鳥 仁志氏(滝原)

任期は令和2年7月20日から、令和5年7月19日までの3年間で

小諸市副市長専任の
同意について

4月臨時会では、副市長の選任について提案があり、同意しました。

- ・田中 尚公氏
(元小諸市総務部長)

任期は令和2年4月17日から、令和6年4月16日までの4年間で

6月定例会に上程された議案と審議結果

議案番号	議 案 件 名	結果	関連記事
報告第11号	繰越明許費の報告について	承認	—
報告第12号	事故繰越しの報告について ※消防ポンプ自動車の納品が不慮の事故により遅れたことによるもの	承認	—
報告第13号	小諸市水道事業会計予算繰越の報告について	承認	—
報告第14号	小諸市公共下水道事業会計予算繰越の報告について	承認	—
議案第45号	小諸市農業委員会委員選任の同意について	同意	P 8
議案第46号	小諸市重度心身障がい児年金条例を廃止する条例	可決	P 5
議案第47号	市道路線の認定について	可決	—
議案第48号	和解について ※御影用水越流を起因とした災害について、被災者である相手方と和解したもの	可決	—
議案第49号	令和2年度小諸市一般会計補正予算(第3号)	可決	P 5
議案第50号	小諸市特別職の職員等での常勤の者の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	P 5
議案第51号	令和2年度小諸市一般会計補正予算(第4号)	可決	P 7
議案第52号	令和元年度 繰越 学校施設環境改善交付金事業 小諸市立美南ガ丘小学校校舎、屋内運動場及びトイレ大規模改造工事請負契約について	可決	—
議案第53号	児童・生徒学習用情報端末 Chromebookの買入れについて	可決	—
議案第54号	令和2年度小諸市一般会計補正予算(第5号)	可決	P 7

9月定例会の予定

月	火	水	木	金	土	日
			8/27 本会議 (提案説明等)	28	29	30
31	9/1	2	3	4	5	6
7	8 本会議 (一般質問)	9 本会議 (一般質問)	10 本会議 (一般質問)	11 本会議 (議案質疑等)	12	13
14 総務文教・市民福祉 産業建設 各委員会	15 総務文教・市民福祉 産業建設 各委員会	16 予算決算委員会	17 予算決算委員会	18 予算決算委員会	19	20
21	22	23 委員会予備日	24	25	26	27
28	29 本会議 (委員長報告等)	30				

*予定のため、変更となる場合があります。開議時間は概ね9時からとなります。詳しくは議会事務局22-1700(代)へお問い合わせください。

傍聴される皆様へお願い
(新型コロナウイルス感染予防)

- 次のことにご配慮をお願いします。
- ・マスクをお持ちの方は着用をお願いします。
 - ・傍聴席に着く前に、備え付けのアルコール消毒液で手の除菌をお願いします。
 - ・発熱などの症状がある方や、体調のすぐれない方は、傍聴をご遠慮ください。
- ※傍聴席は間隔を確保してお掛けください。
- ※状況により、日程等の変更となる場合がありますのでご了承ください。

一般質問

代表質問5名

一般質問とは、議員が「市政が市民のために適切に行われているか」を質すために行うものです。代表質問と個人質問があります。

代表質問は、会派所属議員が会派を代表して質問するもので、3月・9月及び市長の改選後初の定例会で行われます。

個人質問は、各議員個人が質問するものです。

今定例会では、新型コロナウイルス感染症対応の状況下、行政の感染症予防対策の徹底を最優先し、議会対応に伴う職員の負担を極力減らすことに協力する形で「代表質問のみ」とし、また3密（密閉、密着、密接）回避のため「質問時間の短縮」を図りました。



新型コロナウイルス感染症対策の方針

創正会 質問者 相原久男

質問 感染の拡大防止はどうか。

市長 全ての都道府県において緊急事態宣言が解除された現在も、外出など一部について段階的に緩和しているが、健康管理や飛沫感染防止策は当面の間継続していく。第2波、第3波も想定した上で業務継続計画を常に意識して業務に取り組むこととしている。

質問 安心できる医療体制・検査体制はどうか。

市長 外来検査センターを佐久地域にもう一か所設置することも視野に入れ、時期や場所については事業主体である保健所や医師会、関係自治体と協議し進める必要があると考える。

質問 事業者の経済対策はどうか。

市長 外出や往来、営業自粛により市内の多くの事業者に影響が出ている。

る。特に宿泊・飲食業は極めて深刻な状況にある。また、資材調達

が滞り工事の遅れが発生した建設業者や、生産縮小を行った製造業者など多くの業者に懸念がある。

休業補償、各種給付金、運転資金の融資など大きな予算が必要になるが、経済活動は市民の皆様の生活に直結しているため、この難局を乗り越えるために出来る限りの経済対策を行う。各事業所が「新しい生活様式」に合わせた営業活動をするために必要な資材・設備などの購入経費を支援する制度を第3弾として実施する予定である。

質問 住民の生活立て直しはどうか。

市長 市民生活にも様々な支障が生じており、生活の立て直しは喫緊の課題であると認識している。10万円の特別定額給付金については、可能な限り早期の支給を目指し部局横断的にプロジェクトチームを組織し全庁挙げて取り組んでいる。

影響の長期化が予想されるので、国・県の生活支援策を踏まえて、市で考え得る施策については速やかに実施する。

質問 小諸市総合計画基本計画にある「健幸都市こもろ」のまちづくり構想が新型コロナウイルス感染症の影響で厳しさを増すと予想されるがどうか。

市長 本当にこれからの課題だと考える。今夏のサマーレビューで腰を据えて各担当部局と議論をし、既に予算化している事業など、しっかりと洗い直しをして対応していくと庁内では方針を出している。厳しい財政状況が予想されるのでしっかりと対応したい。



特別定額給付金相談・受付窓口



小泉市長2期目の所信表明を受けて

市議会 質問者 山浦利夫

質問

新型コロナウイルス感染症対策資金など、経済対策の取組はどうか。

市長

現在2つの段階を設定して取り組んでいる。1つ目は事業継続を最優先とし、融資、給付金など、資金繰りや当面の収入を確保する取組を第1弾として実施した。2つ目は地域の経済活動を後押しする地域内の消費回復を図る取組の準備を進めている。

質問

新型コロナウイルス感染症対策資金について、市の制度資金の金利負担を軽減し、余裕をもって返済できるように利子補給期間、据え置き期間の延長が望まれるがどうか。

産業振興部長

利子補給期間の延長は、予算の状況や近隣自治体等の状況を見ながら検討していきたい。

据え置き期間は、延長することにより返済時の負担が重くなるな

ど、慎重な検討が必要である。

質問

企業誘致の推進、取組は小諸市が持続可能なまちであり続けるために重要な施策だと考えている。考え方はどうか。

市長

戦略的な産業振興は2期目の市政を進める上で重要な政策であり、企業誘致は大きな柱である。中部横断自動車道延伸等のインフラ整備を見据え、地域特性を生かした誘致活動を行う。また、アフターコロナで暮らし方や働き方が大きく変わることが予想されるので、この点を踏まえて移住施策と連動した新たな企業誘致のあり方を検討していく。

質問

産業団地の保有は企業誘致を推進する上で欠かせない取組だ。将来を見据え、中長期的な視点で取り組む必要があると思うが、どうか。

産業振興部長

中長期的な取組には、自前の商

品(土地)を保有し、具体的な提案が出来る必要がある。

景気動向や企業動向など、様々な状況を注視しながら検討を進めていく。

質問

今年度は第11次基本計画の策定年度であるが、産業団地の造成計画を載せていく考えはあるか。

産業振興部長

一昨年のコンサルタントの調査結果など、色々な企業の動向等を注視する中で今後決めていきたい。

質問

コミュニティ交通(こもろ愛のりくん)の運営について、利便性と効率化のバランスを図り、運営経費と受益者負担のあり方を検討していくとしているが、どのように進めていくのか。

市長

愛のりくんは高齢者を中心に利用が広がっている。利用者の増加に伴い利用時間が集中し、予備車やタクシーによる応援便が急増している。今後運行時刻等を見直し運行の効率化を図っていく。

また高齢者の利用促進策を打ち出していく必要があり、運行経費と受益者負担の考え方を整理した

上で検討を進める。

質問

持続可能な運営には、財政面からの検討が欠かせないが、どうか。

建設水道部長

財政面にも十分配慮して検討を進めていく。

質問

市役所の組織機構の改正が行われ、総務部に施設管理室が設けられたが、目的とするところは何か。

総務部長

今回の施設管理室設置の最大の目的は、公共施設の総合管理計画を所管して、施設の再配置、統廃合、複合化、多様化等を進めるという全庁的な公共施設マネジメントを統括することである。



こもろ愛のりくん



新型コロナウイルス感染症対策はどうか

あたらしい風 質問者 神津眞美子

質問

新型コロナウイルス感染症対策については、市民にとって一番身近な基礎自治体として、市民に寄り添った対策が求められる。市全体を見通す広い視野とバランス感覚が必要だ。経済対策については迅速に対策を講じたが、生活支援についてはどうか。

市長

生活支援は当面は国の小口融資や総合支援がある中で、宿泊業・飲食業が非常にダメージを受けているため、まず最優先でやらせていただいた。今後、生活に関わる部分も検討し、必要に応じて対応していく。

質問

生活困窮者への支援、緊急小口資金や総合支援資金については、申請が多く、支援に至らない方が各100件以上にのぼっている現状だから、もっとスピーディに支援すべきだ。特に小諸市は一人親が多く、外国人も70人余りいる。一人親の貧困率は高く、以前から社会

問題にもなっている。市長は日本一子育てしやすいまちを目指すとやってきただけに独自策を打てなかったのは残念だが、どうか。

市長

子育て世代に対しては、児童手当に国から一万円の上乗せがある。市単独では三千円の商品券を配布する事業を今議会に提案した。

質問

観光業の打撃が大きいと言われる中で、給付を宿泊業者に限ったのはどうしてか。観光関連業者は様々ある訳で、国からの臨時交付金措置もある訳だから、もっと視野を広く持って、関連業者への給付支援策を打つべきではないか。

産業振興部長

一番事業が逼迫しているということを手当したが、今後意識して漏れたところへの支援を考える。

質問

コロナ対策として密を避けるよう徹底しているが、小諸市のまちづくりはコンパクトシティが推進され市役所周辺が密になる。有事

の場合には、まちとしての機能低下が心配されるが、リスク分散の考え、病院併設への対策はどうか。

保健福祉部長

こもろ医療センターの事務長と話をして、駐車場については地下駐車場の第一駐車場については市役所の来庁者用、こもろ医療センターへ行く方は第二駐車場を利用していただくことで周知している。またエレベーターの利用も分け、清掃業者によるボタン等の拭き取りをやっている。出入り口には注意事項を書いた貼り紙をして対応している。

質問

一斉休校となって、CTKや先生活方のご協力でテレビ版学習サポート「プラスSTUDY!」が放送された。これはCTKに加入していないと見られない訳で、見たくても見られない子どもがいたことをどう考えるか。義務教育であり、学習機会の保障の面から、見られない児童生徒に対しての環境整備を行うべきだったのではないか。

教育長

授業そのものを進めるという位とでなく、プラスのものという位

置つけだった。あるものは有効に使って、できるだけいろんな手段で皆さんにお届けしたいというものだった。

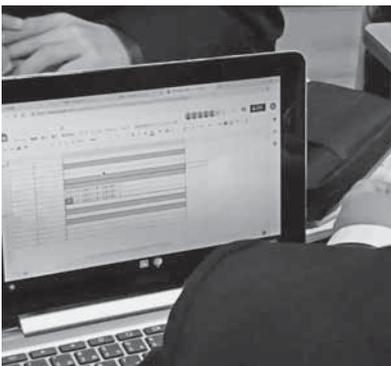
質問

自治体によっては、家庭で見られない子どもたちのために公民館で視聴できるようにした所もある。今後第2波、第3波に向け考えていくべきと申し上げる。

今後推進されるオンライン教育で必要となる家庭のインターネット環境整備についてはどうか。

教育長

完全休校になって学びの手段がなくなつた時の最後の砦のような形で使うのがオンラインと考える。学校で慣れてから家庭とタイアップしながら取り組んでいく。就学援助の認定世帯については支援を考えている。



オンライン授業を体験



新型コロナウイルスから見えた課題を問う

日本共産党 質問者 掛川 剛

質問

新型コロナウイルス感染症対策は防災対策のひとつと位置付け地域防災計画でマニュアル化すべきではないか。

危機管理課長

国・県の動向をもって地域防災計画に反映させていきたい。

質問

今一番欠けているのは感染者の正確な把握だ。症状がない感染者が半数はいる。効果ある対策を進めるためには検査体制を充実させる必要があるが総合連絡会議で関係機関と議論しているか。

危機管理課長

県の保健所管轄なので踏み込んだ議論はしていない。次からの会議で議論していきたい。

質問

第2・3波、秋以降のインフルエンザ・新型コロナウイルスの大波が来た場合の医療崩壊も考えられる。最悪の事態を想定し、軽症者の隔離施設の確保も必要ではないか。

保健福祉部長

県では病床で300床、宿泊施設で200床確保しており現時点では安心できる数値と考える。

質問

コンパクトシティ構想のもと、市役所・病院・複合施設など一か所にまとめたが、感染症が発生した場合には機能低下・停止が心配される。市役所での業務継続が困難になった場合はどうするのか。

総務部長

基本的には市役所で運営していく。業務継続計画も作りシミュレーションしている。市役所が困難となった場合は文化センターが第一候補となると思う。

質問

新型コロナウイルスによりテレワーク・リモートワークが取り上げられるようになった。こういう働き方があるということもわかった。今首都圏で働いている子育て世代の若い人たちに小諸に移住・定住してもらうような働きかけはどうか。

市長

既にそういうことも考えながら

対策を具体的にしていこうという段階にある。オフィシャルワーカ―は現場にいないといけないが、そつでない情報通信などにターゲットを絞りたい。

質問

不織布マスクが無くなったように、生産拠点を海外に頼っていては何かあった時に痛い目に合う。食料をはじめ自給率を高め、経済を地域の中で回す取組を強めていく必要があるのではないか。

市長

私もそういう見方をしている。



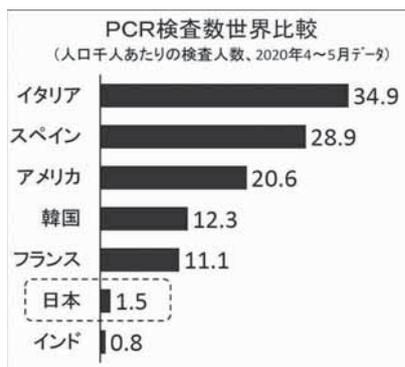
災害時における感染症対策はどうか

公明党 質問者 土屋利江

質問

4月に内閣府などは、自治体に対して感染症下の災害では、避難者の密集を避ける観点から、従来より多くの避難所を設置するように通知を出している。また第2次補正予算案では、床に直接寝ないことでウイルスの吸入防止に効果がある段ボールベッドや室内を区切るパーティションの備蓄強化に

大きな見直しをする時が必ず来ると思う。企業誘致や自給ができるような農業を積極的にすすめていくことも大変重要ではないかと考えている。



対策の第一歩は感染者の正確な把握から

地方創生臨時交付金の活用が示されている。

5月27日には、長野県避難所マニュアル策定指針が改正されたが小諸市の作成はどうか。

市長

5月14日に新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、防災会議を書面で開催し、マニュアル案に対する意見を頂き県の策定指

針を反映させ、区が用いる避難所開設運営マニュアルを策定した。今後は、実効性のあるマニュアルとなるよう6月13日には、各区長への説明会を行う。

質問

改定された避難所運営マニュアルは、感染症防止対策として可能な限り多くの避難所の開設が必要としているが、指定避難所以外の避難所を想定しているか。

危機管理課長

密集を避けるために市としては、ホテル・旅館の活用を考えている。現在、小諸ホテル旅館業組合と協定締結に向けて商工観光課を窓口として調整している。

質問

感染予防のための備蓄品の配備はどうか。

市長

避難所10施設分の手洗いう液体石けん、ペーパータオル、手指用アルコール消毒液、マスクなどの衛生用品のほか、100人分の段ボールベッドと段ボールパーティション等を予定している。できるだけ早期に備蓄をしていく。

質問

体温計の備蓄状況はどうか。

危機管理課長

体温計については備蓄がない状況である。予算化はしてあるので購入する予定である。

質問

段ボールベッドとパーティションの購入予定はいつ頃か。

危機管理課長

予算を認めて頂いてから業者に発注をかけるのでいつ頃かは答えられない。

質問

避難所でのテントの利用は、飛沫感染を防ぐため屋根があるほうが望ましいが、熱中症対策にも十分注意が必要である。テントの購入予定はあるか。

危機管理課長

誰でも安心・安全に避難できる環境を整えていく中で備蓄をする準備を進めていく。



避難所のテントを利用した場合

「議会と語る会」を開催します

内容

- ・報告（前年語る会のその後の経過【30分程度】）
- ・意見交換（災害時での自助・共助の推進について考える）

開催日時・会場

開催日	会場	対象地区
10月12日(月) 19:00～	諸公民館	大里
10月13日(火) 19:00～	J A 佐久浅間 北大井店	北大井
10月14日(水) 19:00～	久保公民館	川辺
10月18日(日) 13:30～	市民交流センター	中央
10月20日(火) 19:00～	J A 佐久浅間 三岡店	三岡
10月21日(水) 19:00～	みはらし交流館	西小諸
10月22日(木) 19:00～	御影コミュニティセンター	南大井

小諸市議会では、議会の活動や市政の課題等を共有するとともに、市民の皆様から議会や市政に対する提言、意見等をお聞きし、小諸市の発展に活かすため、議会と語る会を開催しています。意見交換の場を多くの方から気軽に意見を出してもらえる場となっておりますので、お気軽にご参加ください。

※新型コロナウイルス感染症拡大を防ぐため、状況により中止となる場合がございます。



議会制度改革検討委員会



神津眞美子
副委員長

相原久男
委員長

当委員会は市民に、より信頼され開かれた議会を目指す。議会改革に関する調査研究及び提言を行うことを目的に設置しました。

調査研究の経過報告を申し上げます。

第17次議会の申し送り事項である平成28年12月に制定された「議会基本条例の検証並びに見直し」

を行いました。この条例は、二元代表制における議決機関としての議会及び議員の責務を明らかにするとともに、議会の民主的な運営及び議員活動

に関する基本的事項を定め、市民の負託に応え、市民福祉の増進に寄与することとしています。

議員自ら再認識し実践することを確認いたしました。

次に、市長からの申し入れ事項「議員（委員）の質問についての反問」

についてルール化、文章で明確な運用を定めたらどうかについては、議会基本条例では、議員の質問に対して論点を明確にするため、当該議員に反問することができるとなっています。反問の方法については明文化されていないため、反問に関する運用の指針づくりが必要とし先進市の事例の研究、反問権を導入している佐久市議会の視察などを行いました。

委員会では「反問権の運用について」の申し合



佐久市議会への視察研修

わせを策定し、本年6月議会から試行する事といたしました。

現在は、議会における災害発生時の行動マニュアルに沿った議員の「防災に対する行動規程」を議会基本条例にうたうことが必要として調査研究をしています。

また、市民の皆様によりわかりやすい一般質問のあり方などについても調査研究を行っています。

議員定数及び報酬等検討委員会



早川聖
副委員長

清水喜久男
委員長

平成31年1月の市議会議員選挙では、小諸市制以来初めて立候補者が議員定数を上回る結果となし、7月に開催した「議会と語る会」において「市議選の無投票を市民と考える」をテーマにして多くの皆様と意見交換を行いました。

全国的に議員に立候補者が少ない状況の中で平成22年に議員年金制度の廃止もその一因と言われていますが色々の要因が上げられます。

市議選が無投票であったことでの意見は、「選

挙はあった方が良いが問題を感じていない。」「どんな公約を持った人が議員か分からない。」「等の意見がありました。

立候補しない理由では、「選挙に対する不安」「次の保証がない等の意見」が多く、その中で「議員報酬」や「議員定数」についても様々な意見が出されました。

議会として次期選挙の1年前（令和3年12月）までに議員定数や議員報酬について検討するため、令和元年12月議会において当委員会を立ち上げました。

当初は検討するための資料収集作業を行い小諸市と類似している37市の各種資料や議員の活動量調査、公務員と民間企業の給料資料等の収集を行いました。

現在は、収集した資料



委員会の様子

を基に委員会として全員で「議員定数」や「議員報酬」の適正数値とその理由等を纏め、10月の「議会と語る会」において中間報告ができるよう全議員で検討し、中間報告での意見等を参考として再検討を加えた内容を令和3年度の「議会と語る会」において市民の皆様へ報告すると共に意見をお聞きする中で、議会として最終的な決定をする予定です。市民の皆様と共に魅力ある議会を目指す所存です。

小諸市議会からのお知らせ



柏木今朝男
副議長

竹内健一
議長

1. 『議会だよりモニター』を募集します。
2. 公式SNS (Facebook・Twitter)始めました。
フェイスブック ツイッター
3. 動画配信 (YouTube)始めます。
ユーチューブ

『議会だよりモニター』 募集について

議会だよりの読みやすさ向上のため、「議会だよりモニター」を募集します。

- ・ やって頂くこと
議会だより発行（年4回）毎にアンケート（自由記載、ご意見・要望など）を書いて提出して頂きます。
- ・ 任期
今回の任期は令和3年1月31日とし、以降は1年単位とします。
- ・ 定数
20人以内とします。
- ・ 申し込み期限
令和2年8月31日
- ・ 申し込み方法等
小諸市議会ホームページをご覧ください。

あるいは最寄りの市議会議員にお声がけください。

公式SNSの開始について

小諸市議会公式SNS（フェイスブック・ツイッター）を始めました。

パソコンやスマホから「小諸市議会」で検索できます。

小諸市議会のホームページから開くこともできます。

本会議や委員会など、傍聴可能な会議やその他の情報について、日程や内容を、できるだけ詳しくお知らせします。

市民の皆さんにコメントを書き込んで頂くことも可能ですが、運営方針により、返信はしませんのでご承知置き下さい。

「小諸市」のSNSと同様にご利用頂けますと幸いです。

議会動画の配信について

小諸市議会の本会議（議案提案と説明、議案質疑、一般質問、議決模様、議長選挙など）をユーチューブで配信します。

パソコンやスマホで視聴ができるようになります。

コロナウイルス感染症予防のため、議場の傍聴席数に制限をかけるを得ず、またコミュニケーションテレビこもろ未加入世帯でも視聴可能とするため、動画配信をすることいたしました。

現在準備中ですが、準備ができ次第配信いたします。

議会広報委員会より

毎年実施されている「議会と語る会」などで常に多くの市民の皆さんからお聞きするのは「議会・議員としての活動が見えない、わからない」と言つて意見でした。

これらを改善し、「情報公開・開かれた議会」を実現するため、またコロナウイルス感染症対策により傍聴席の数を制限するなど議会を見る機会が少なくなってしまう現状から、今回の一連の広報施策を開始することとしました。

少しでも市民の皆さんに議会に興味を持っていただき、議会だよりモニターへの参加、議会動画の視聴などをして頂けるよう引き続き努力してまいります。

広報委員長 高橋 公
副委員長 楚山 伸二



ぼいす

第13回

キラキラ★小諸人
芝生田放課後
児童クラブの皆さん

有志からなる児童クラブ運営委員会（区長経験者・PTA支部長など）を訪ね、代表者の柳沢さんと高橋さんに活動内容をお聞きしました。

Q1 活動のきっかけは、何ですか。

公民館の前庭でゲームをしている子どもたちをを見て、安心できる居場所を作ってあげたいと思いました。

Q2 どのように活動していますか。

最初は、夏休みこども教室を3日間開催し、次の年から毎月、第2と第4水曜日の午後3時半から5時半まで公民館で開催しています。区内の小学生の登録は50名です。運営委員（4名）が学

習支援や見守り（読書・将棋・版画・水彩画・小間物作り）をしています。参加者は区の傷害保険に加入し、区からの補助金で運営しています。

Q3 今までの活動で楽しかったことは。

夏休みに、みはらし交流館でカレー作りをしたことや親子で湯の丸登山をし、池の平湿原を散策して運営委員手作りのきのこ汁を食べたことです。

Q4 保護者の反応はどうですか。

月に2回であるが、安心して仕事が出来ると喜ばれています。両親に対し毎年「内緒の年賀状作り」を作成しています。好評です。



公民館での活動の様子

Q5 今後の活動目標は、何ですか。

卒業した中学生や高校生が小学生の学習支援をしたり、公民館が地域住民の交流の拠点になることを願っています。

傍聴席



坂口宇多彦 さん

旧市庁舎から新庁舎の現在に至るまで、市議会定例会を毎回傍聴しています。

この間市長3名議長6名が交代され議員も徐々に変わり、市議会の変遷を目の当たりにしてきました。

いつも傍聴席にて楽しく期待をもって傍聴に臨んでいます。今の本会議場は議員席と行政側が対面する形となって、傍聴席からは双方の雰囲気など臨場感を直に実感出来る良いです。

定例会のメインは何と言っても一般（個人）質問と代表質問にあると思われま。日頃の議員活動が示される場として、また議員主導で政策論議が出来る唯一の場であるので、質問議員は一段と力が入り緊張の高まりを感じるところです。議長が許可した後、持ち時間60分で市の行財政全般にわたり大所高所からの政策を建設的立場で議論することになります。結果として行政側から納得出来る答弁を引き出せたかまたは不十分に終わるかはその議員の「発言力」次第のように思います。質問時のパネル使用は判りやすく効果あります。二元代表制の一翼を担う小諸市議会のさらなる活性化、「健幸都市こもろ」の実現に期待です。

編集後記

いのちと社会を守るための「新しい生活様式」の模索が始まった。新型コロナウイルス感染症予防のために、買い物・移動・娯楽・食事・行事・働き方など、日常生活やビジネスのあらゆる分野において、これからは「人との距離」を意識しつつ、生活や仕事が成り立つスタイルを構築しなければならぬ。

学校や職場などでネット会議アプリを使った動きが多くみられたが、

全国各地の地方議会でもそうしたアプリを活用するなど、コロナ対応を契機として、今まで導入できなかった「議会を変革」する具体的な取組が始まりつつある。

当議会6月定例会への傍聴者はさすがに少なかったが、SNSやYouTubeなどを活用して「ソーシャルディスタンス」を取りつつも、市民と議会との「距離間」を縮めたいと考えている。

(楚)